KENYA STUDENTS' EDUCATIONAL SCHOLARSHIP
run by Japan Overseas Cooperation Volunteers

Kenya Students' Educational Scholarship (KESTES)

2016年度年次報告書

- KESTES Annual Report 2016 -

ご挨拶

KESTESケニア運営委員
委員長　坂尾 久美

～～ 夢ある子供たちに、教育の機会を。 ～～

平素よりKESTES(Kenyan Students' Educational Scholarship)をご支援頂き誠にありがとうございます。

皆様の温かいご支援とご協力により、2016年度も継続して7名の奨学生の支援を行うことができました。日頃のご高配に、改めて御礼申し上げます。1983年、ケニアに派遣中の青年海外協力隊の有志によってスタートしたKESTESも、お陰様で33年目を迎えました。

2017年8月にはケニア大統領選挙が行われ、今後の国内情勢についても目が離せない状況です。ケニア国内で顔の見える支援をしているKESTESとしては、どうしても国の情勢に左右されてしまうことは否めません。それでもケニアの教育、発展のために貢献したいという思いを持った隊員が、KESTESの運営に関わり、現在も奨学生のサポートを続けています。

今後も、私たちの活動が続けられる限り、子供たちへの支援を続けていく所存です。

今後も、皆様のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

KESTES代表　坂尾久美(平成28年度2次隊)

目次

1. ご挨拶 ・・・ 1
2. KESTESとは ・・・ 2
3. 奨学生支援～青年海外協力隊ならではの支援を目指して～ ・・・ 3
4. 2016年度奨学生紹介 ・・・ 4
5. 活動実績 ・・・ 7
6. 運営体制 ・・・ 9
7. 収支報告 (2015年度・2016年度) ・・・ 10
8. ご支援いただいた皆様 ・・・ 12
9. KESTESへのご支援のお願い ・・・ 13

KESTESとは

Kenya Students' Educational Scholarship

青年海外協力隊在ケニア隊員有志による奨学金制度
才能があるのに、がんばっているのに、お金がなくて学校へ行けない。
経済的理由で学業の継続が困難な状況にある優秀なケニア人生徒に対し、セカンダリースクール就学のための学費を支援しています。

組織目標

ケニアでは成績・人格ともに優秀であり、次世代においてケニアの貴重な人材となる可能性を秘めた者が、セカンダリースクールに通うための学費の支払いができないゆえに、学業を中途で放棄するという状況が数多くみられます。そのような生徒達を組織的・継続的に支援するためにKESTESは以下のことを目的として活動しています。

『教育を通して生徒ひとりひとりが夢を実現することを支え、ケニア社会のよりより発展に貢献する』

そのために以下のことに取り組んでいます。

就学支援

家庭の事情により教育の機会に恵まれない子どものセカンダリースクール就学を支援し、子どもの夢や自己実現を支える

人材育成

定期的な学校及び家庭訪問を通し、学習指導や生活面のサポートを行い、よりよい社会を作っていける優秀な人材の創出に寄与する

国際交流

日本とケニアの交流や相互理解を促進し、お互いのよいところを学び合う

広報

KESTESに対する認知や理解の向上に努める

組織運営

共通の目標に向かい、メンバー1人1人が何ができるのかを考え行動し、組織の円滑な運営に努める

奨学生支援 ～青年海外協力隊ならではの支援を目指して～

採用プロセス

KESTESでは、年間7名前後の奨学生を継続的に支援していくことを目標としています。応募に当たって、奨学生は、以下の応募資格を満たすこと、隊員による推薦を受けることが求められます。推薦に当たっては、推薦者は事前に面談、家庭訪問を行い、自信を持って推薦できる生徒かどうかを評価します。推薦された生徒は、定例総会の場にて運営委員による審査が行われ、KESTESの奨学生として適当と認められた場合、採用されます。採用期間は採用された学期から年度末まで、継続する場合は再審査を受けます。

応募資格 *2016年12月時点

A）進級する生徒の場合

- 推薦時に、ケニアのセカンダリースクールに所属する生徒であり、かつ直近タームの学校成績が学年で上位20%以内であるか、またはグレードC+以上である生徒。
- 但し、直近のThe Kenya National Examinations Council公式発表の上位100校に入るSecondaryに所属する生徒であり、かつ直近タームの学校成績が学年で上位50%以内であれば、この限りでない。

B）進学する生徒の場合

次年度1学期より、ケニアのセカンダリースクールへの進学を予定している者であり、プライマリースクールSTD8での3学期の学校成績が学年で上位20%以内であるか、またはグレードC+以上、あるいはKCPE（Kenya Certificate of Primary Education）の点数が300点以上である者。

採用後の支援体制

採用後は採用月の学期から年度末までの学費、寮費、教材費、また必要に応じて制服代等が支給されます。KESTESの奨学金制度としての最大の特徴は、学費の支援のみを行うのではなく、各奨学生に担当者が付きFace to Faceのコミュニケーションを取り、兄弟や友のような存在となり、交流を深めている点にあります。学業に集中し、よりよい成績が修められるよう、振返りシートを用い、目標意識を持って学業に取り組むように支援しています。

2016年度奨学生紹介（7名）

サイラス・ムワニア・ムニャウ（2016年9月～支援開始）

Simisi Secondary School, 2年生

4年前に父親を亡くし、祖母、母、6人の弟妹と暮らしています。家庭では、苦しい家計を助けようと農作業・炭焼き・水汲みを手伝い、幼い弟妹たちの面倒もみる優しいお兄ちゃん。学校では、貧しさから学費が払えず通学できない期間もありながら、入学以来 B-以上の成績をキープしている努力家です。

ロナルド・カシオカ・ムトゥク（2016年1月～支援開始）

Dr. Ribeiro Parklands School,1年生

小学校8年生の1学期に突然「ネフローゼ症候群」という腎臓疾患を発症し、療養のため学校を休学せざるを得なくなりました。もともと貧しかった家庭の経済状況は治療費のために困窮し、一度は断念した進学。1年間の療養を経て、今年念願の進学を果たしました。小柄で口数の少ないカシオカ君ですが、言動の端々から芯の強さを感じる少年です。

オニャンゴ・ジェミマ・アコス（2016年1月～支援開始）

Asumbi Girls High School,1年生

家庭の事情により、母方の祖父母に育てられてきましたが、通っていた小学校の校長先生より支援を受けながら、小学校生活8年間を通して毎日早朝から勉学に励み上位の成績を維持し続け、念願のAsumbiに入学しました。家族思いの心優しい女の子で、将来の夢はジャーナリストになり、祖父母を助けることです。

ネーマ・マーガレット・ケルボ（201５年9月～支援開始）

Asumbi Girls High School, 3年生

父親の死後、市場で小売りをする母の収入だけでは７人の兄弟を学校に通わせる事が難しくなりました。しかし、教育の大切さを信じる父と母の信念のもと、家族一丸となって奨学金を探し、支援を受けながら、それぞれが優秀な学校で優秀な成績をおさめています。『凛としている』という言葉が似合う彼女。いつも相手の目を見て人の話をしっかりと聞き、そして良く考えてから言葉を発してくれます。

ケビン・マイナ・オティエノ　(2015年1月～支援開始)

Orero Boys High School,2年生

裁縫のお仕事をする母親と孤児である義理の兄弟と暮らすケビンくん。静かで小さな青年で、身長は150センチもなく、自分についてあまり語ろうとしません。しかし、実は母親譲りのポジティブ思考で、ダンスやスポーツも好きだそう。今後は自己表現を積極的にし、将来の可能性を更に広げていけるよう応援していきます。

オンディエック・ラウィ・オティエノ（201４年1月～支援開始)

Mbita High school, 3年生

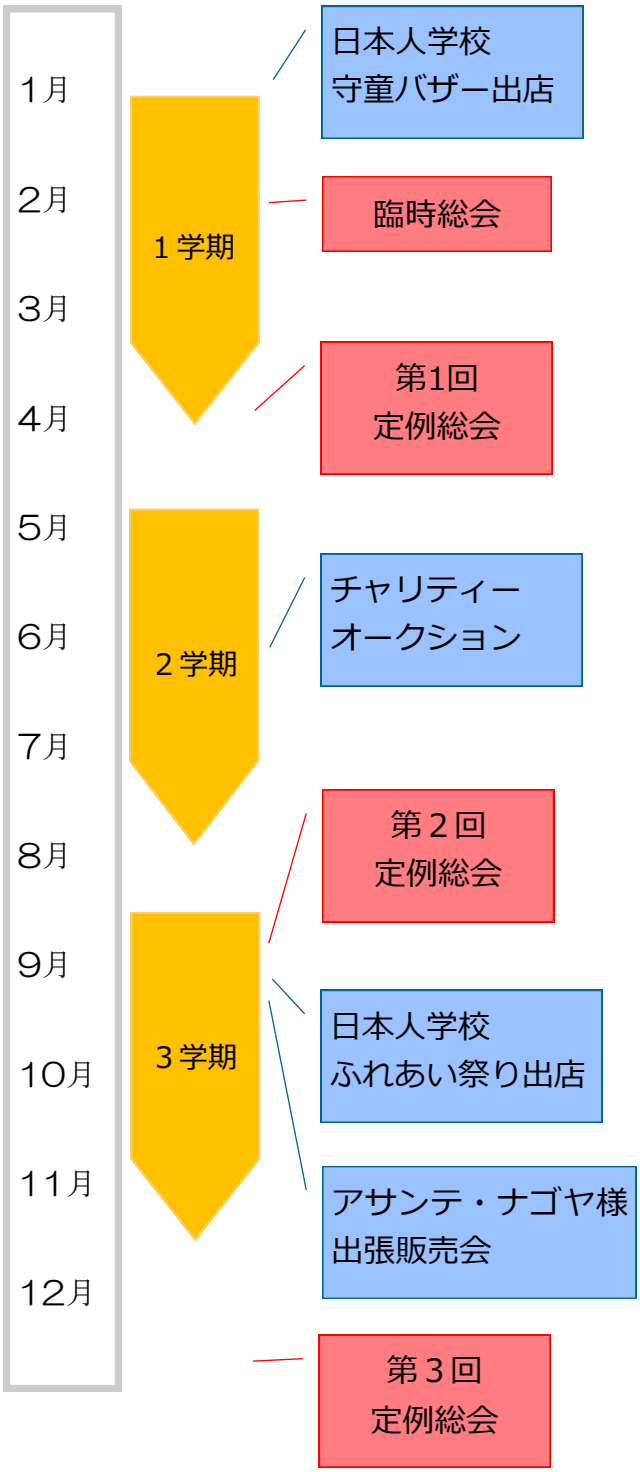
早くに父親を病気で亡くし、女手一つで育てらたラウィくん。厳しい家庭環境にも関わらず、小学校では常に上位の成績をキープし、学校のエッセイコンテストで優勝した経験も。5人兄弟の末っ子のせいか、すこし控えめなところがありますが、その分優しい子です。将来は奨学金制度を作りたいと言っている彼。高校でもコツコツと勉強を頑張っています。

ファトゥマ・モシン（2013年9月～支援開始)

Memon High School, 4年生

モンバサ屈指の進学校に通うファトゥマさん。敬虔なムスリムでアラビア語は常にAの成績をおさめています。モンバサから隊員が撤退してからは遠隔で支援していますが、今年はKCSE受験を控えた4年生です。とても恥ずかしがり屋で口数も少ないですが、努力家の彼女。最後の集大成を見せてくれると期待しています。

活動実績



□定例総会

1）臨時総会

開催日：　2016年2月23日

開催場所：グレースハウスリゾート

内容：　奨学生継続審査、
本年度奨学生採用枠、その他

2016年度第1回定例総会

開催日：　2016年4月17日

開催場所：ボランティア連絡所

内容：　会計報告、新規奨学生採用審査、
現奨学生近況報告、その他

2016年度第2回定例総会

開催日：　2016年9月3日

開催場所：ボランティア連絡所

内容：　会計報告、新規奨学生採用審査、
現奨学生近況報告、助成金について
来年度奨学生採用枠、その他

2016年度第3回定例総会

開催日：　2017年1月3日

開催場所：ボランティア連絡所

内容：　会計報告、新規奨学生採用審査

活動実績

●イベント

守童バザー

開催日：　2016年1月23日

開催場所：ナイロビ日本人学校

内容：　　グッズ販売、募金、広報活動

チャリティーオークション

開催日：　2016年6月２３日

開催場所：オリーブカーデンホテル

内容：　　帰国隊員寄付品の
　　チャリティーオークション

日本人学校ふれあい祭り

開催日：　2016年９月17日

開催場所：ナイロビ日本人学校

内容：　　グッズ販売、募金、広報活動

アサンテ・ナゴヤ様　出張販売会

開催日：　2016年9月25日

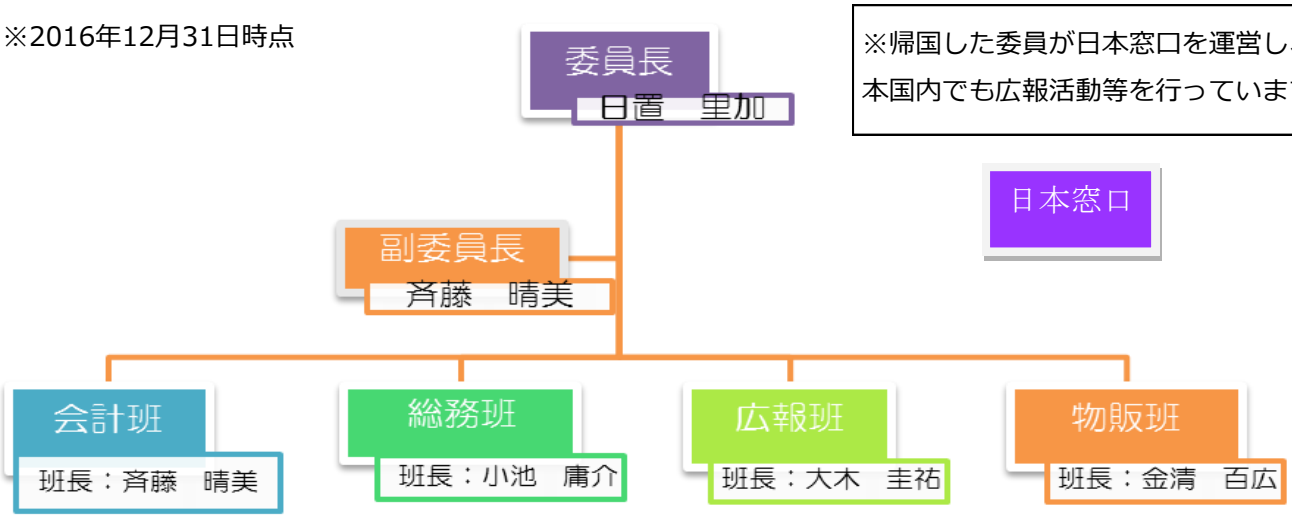
開催場所：ナイロビ市内某所

内容：　　グッズ販売、募金、広報活動

守童バザーでは元奨学生のブライアンくんが遊びに来てくれました。現在は日本人の方が運営するNGOでスタッフとして働いています。

運営体制

※2016年12月31日時点



※帰国した委員が日本窓口を運営し、日本国内でも広報活動等を行っています。

日本窓口

各班事業内容

会計班：予算管理、資金管理、会計監査

総務班：制度運営、奨学生採用、奨学生支援

広報班：広報誌発行、HP・Facebook管理、個人・企業サポーター管理

物販班：商品開発、販売、イベント出店

収支報告 2015年度（ケニア）

会計期間：2015年1月4日～2016年1月2日
換算額：1USD＝85Ksh、1JPY＝1.3Ksh

収入の部

単位：KES

科目	実績
1．受取会費	
年会費	15,000.00
個人・企業サポーター登録費	50,300.00
2．受取寄付金（募金）	73,182.00
3．日本窓口からの定期送金	325,000.00
4．事業収益	
イベント収入	90,615.00
グッズ収入	365,850.00
5．その他収益	
利息・為替益・雑収入	1,524.60
経常収益（A）	**921,471.60**

支出の部

単位：KES

科目	実績
1．事業費	
奨学生学費	599,686.00
その他必要経費	194,794.00
2．管理費	9,018.05
経常費用（B）	**803,498.05**
当期経常増減額（A-B）	**117,973.55**

単位:KES

前期繰越正味財産額	2,067,828.10
当期正味財産額(ケニア窓口)	117,973.55
当期正味財産額(日本窓口)	353,355.60
次期繰り越し正味財産額	2,539,157.25

*2015年1月～7月の奨学金事業を対象に『世界の人々のためのJICA基金』より支援を受け、
626,116円が日本窓口に一括で振り込まれています。

収支報告 2016年度（ケニア）

会計期間：2016年1月3日～2017年1月2日
換算額：1USD＝103Ksh、1JPY＝0.87Ksh

収入の部

単位：KES

科目	実績
1．受取会費	
年会費	9,000.00
個人・企業サポーター登録費	150,700.00
2．受取寄付金（募金）	147,819.00
3．日本窓口からの定期送金	124,500.00
4．事業収益	
イベント収入	70,589.00
グッズ収入	267,954.00
5．その他収益	
利息・為替益・雑収入	2,942.00
経常収益（A）	**773,504.00**

支出の部

単位：KES

科目	実績
1．事業費	
奨学生学費	892,749.00
その他必要経費	79,971.00
2．管理費	18,741.00
経常費用（B）	**991,461.00**
当期経常増減額（A-B）	**-217,957.00**

単位:KES

前期繰越正味財産額	2,539,157.25
当期正味財産額(ケニア窓口)	-217,957.00
当期正味財産額(日本窓口)	488,269.23
次期繰り越し正味財産額	2,809,469.48

ご支援いただいた皆様

助成金

世界の人びとのためのJICA基金

KESTES個人サポーター

現在25名の方に支援していただいています。

KESTES企業サポーター

EXCIA East Africa, Ltd. 様

JKUAT NISSIN FOOD 様

MITSUBISHI MOTORS

三菱自動車工業株式会社 様

ROHTO

ROHTO-MENTHOLATUM (KENYA) LIMITED 様

CHEKA
JAPANESE IZAKAYA

居酒屋「CHEKA」 様

Delights

http://delights.jp

DELIGHTS CO. LTD. KENYA 様

KESTESへのご支援のお願い

KESTESは日本・ケニア国内の皆さまからのご寄付に支えられ、活動を展開しています。
皆様からの温かいご支援とご協力、心よりお待ち申し上げます。

KESTES個人サポーター制度

KESTESの趣旨に賛同し、活動を支援してくださる方を募集しています。

●1口1,000Kshとし、1口以上で登録できます。

KESTES企業サポーター制度

KESTESの主旨に賛同し、活動を継続的にバックアップしてくださる
企業・団体を募集しています。
●ゴールドコース　1口　10,000Ksh
●シルバーコース　1口　3,000Ksh

ご寄付

●銀行振込

日本からのご寄付

振込先：ゆうちょ銀行
口座番号：00100-9-750111
口座名義：KESTES

●WEB募金
KESTESウェブサイト
「WEB募金」ページ参照

ケニアからのご寄付

振込先：CBA (Commercial Bank of Africa) Upper Hill Branch
口座番号：7717390037 (USD)、7717390045 (KSH)
口座名義：Haruko Higuchi

Kenya Students' Educational Scholarship

〒 C/O JICA KENYA OFFICE, P.O. BOX 50572-00200, NAIROBI

✉ kesteskenya@gmail.com

KESTES 検索

Website(日本語版): https://jocvkestes.wordpress.com/

Facebook : https://www.facebook.com/jocvkestes/